

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 12 月 27 日 (2007.12.27)

【公開番号】特開 2005-160070 (P2005-160070A)
 【公開日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-023
 【出願番号】特願 2004-334791 (P2004-334791)
 【国際特許分類】

H 0 4 Q 7/34 (2006.01)

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

【F I】

H 0 4 B 7/26 1 0 6 A

H 0 4 L 12/28 3 0 0 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 11 月 13 日 (2007.11.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線ネットワーク内デバイス接近判別方法であって、

検出される無線ネットワーク輻射信号の特性を第 1 のデバイスにて抽出するステップと

、
 無線ネットワーク上にある他の少なくとも 1 個のデバイスからネットワーク特性に関する放送を受信するステップと、

第 1 のデバイスにて抽出したネットワーク特性と無線ネットワーク上の他のデバイスからの放送として受信したネットワーク特性とを比較するステップと、

ネットワーク特性が所定の関係にある場合に第 1 のデバイスと上記他のデバイスとが互いに近いところにあると判定するステップと、

を有する方法。

【請求項 2】

請求項 1 記載の方法において、ネットワーク特性を抽出するステップが、

検出可能な無線ネットワーク輻射信号を各無線アクセスポイントから輻射するステップと、

無線アクセスポイント毎に信号強度及びノイズレベルを計測するステップと、

無線アクセスポイントの M A C アドレスの検出を試行するステップと、

を含む方法。

【請求項 3】

請求項 1 記載の方法において、更に、第 1 のデバイスにて抽出したネットワーク特性を無線ネットワーク上に放送するステップを有する方法。

【請求項 4】

請求項 2 記載の方法において、更に、計測した信号強度及びノイズレベル並びに M A C アドレスを格納するステップを有する方法。

【請求項 5】

請求項 1 記載の方法において、更に、上記他のデバイスの位置が既知である場合に当該他のデバイスに対する第 1 のデバイスの相対位置を決定するステップを有する方法。

【請求項 6】

請求項 1 記載の方法において、ネットワーク特性同士を比較するステップが、各ネットワーク特性の輻射空間内距離を計測するステップを含む方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載の方法において、輻射空間内距離が、各チャネル毎に信号強度及びノイズレベルにおけるギャップの総計を計測することにより決定される方法。

【請求項 8】

請求項 6 記載の方法において、輻射空間内距離が、次の関係

【数 1】

$$D_{Manhattan} = \sum_{ch} |SS_{ch} - SS'_{ch}| + \sum_{ch} |NL_{ch} - NL'_{ch}|.$$

による実行時間窓に亘り、各チャネル ch 毎に信号強度 SS_{ch} 及びノイズレベル NL_{ch} におけるギャップの総計を計測することにより決定される方法。